

## 2017 年度第 2 回 日本学連幹事会 議事録

開催日時：2017 年(平成 29 年)9 月 30 日(土曜日) 14:00~21:30

開催会場：三重県伊賀市 青山ホール

議事録作成者：広報部長 坂野 翔哉（東京理科大学）、広報部員 山川 登（東京大学）

### 議題

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1.新歓フライヤー作成について.....    | 3  |
| 2.加盟校基準について .....       | 5  |
| 3.インカレリレー特例措置について ..... | 8  |
| 4.春インカレについて .....       | 9  |
| 5.全日本大会について .....       | 11 |
| 6.コントローラ講習会 .....       | 11 |
| 7.事業計画について.....         | 12 |
| 8.技術委員会の今後について .....    | 13 |
| 9.インカレスプリント会計について ..... | 15 |
| 10.学連発足 35 周年に向けて.....  | 16 |
| 11.賛助会員について .....       | 17 |
| 12.後援大会について.....        | 17 |
| 13.メーリスについて.....        | 18 |
| 14.学連内部の取り決めについて .....  | 19 |
| 15.後援大会について.....        | 19 |
| 16.理事会報告.....           | 20 |
| 17.各部局活動報告 .....        | 20 |
| 18.地区学連活動報告.....        | 21 |
| 19.次回幹事会について .....      | 22 |

出席者（敬称略）

| 氏名    | 役職         | 学校名       |
|-------|------------|-----------|
| 木村 佳司 | 理事         | 山口大学卒     |
| 瀬川 出  | 幹事長        | 東京大学      |
| 成澤 春菜 | 副幹事長       | フェリス女学院大学 |
| 竹内 公一 | 会計         | 名古屋大学     |
| 矢野 峻平 | 事業部長       | 大阪大学      |
| 坂野 翔哉 | 広報部長       | 東京理科大学    |
| 山川 登  | 広報部        | 東京大学      |
| 吉澤 佳奈 | 事務局長       | 日本女子大学    |
| 堀江 優貴 | 渉外部長       | 東北大学      |
| 塩平 真士 | 会計監査       | 北海道大学     |
| 佐藤遼平  | 会計監査       | 東京大学      |
| 丸山 真輝 | 北東学連幹事長    | 東北大学      |
| 小山 友綺 | 北信越学連幹事長   | 金沢大学      |
| 上野 康平 | 関東学連幹事長    | 東京工業大学    |
| 西嶋 就平 | 東海学連幹事長    | 名古屋大学     |
| 遠藤 匠真 | 関西学連幹事長    | 大阪大学      |
| 山本 徳高 | 中四国九州学連幹事長 | 岡山大学      |

## 1.新歓フライヤー作成について

### 要旨

昨年度試行的に行われた理事の木村氏によるフライヤー作成は、翌年の新歓に向けて日本学連幹事会と協力して行うことになった。

|    |  |
|----|--|
| 木村 | <p>今年度初参加のため立場を説明する。日本学連は日本オリエンテーリング協会に加盟し、学連代表としてその理事として私と瀬川とで 2 名が出席している。日本オリエンテーリング協会に対して 1 票と大きな発言権を持っている。日本のオリエンテーリング全体にも関与していることも意識してもらって、この会議に生かして欲しい。</p> <p>途中退出の関係からはじめに諸連絡をする。まずスキーオリエンテーリングについて。私がスキーO 委員会委員長としてやっている。世界学生大会が 2 年に 1 回開催されていて、2018 年 2 月エストニアで開催される。これへの派遣を、日本学連を通して行う。この活動について普及をお願いしたい。</p> <p>フライヤーについて</p> <p>日本学連は設立経緯からしてインカレの開催が最重要である。その持続のためにはとにかく人を集めなければならない。山口大、信州大、広島大などはかつて大きなクラブだったが、いずれも消滅し、広島大だけは近年復活した。現在あるどこのクラブでもこうなる可能性がある。新歓の重要性を理解してもらいつつ、支援するため、今年は個人の企画として寄付を募ってフライヤーを作成し各大学に配布した。これを来年度は日本学連公式の企画として学生からのデザイン公募や広報も行いたい。デザインコンペでは誘い合ってより良いものとしたい。枚数などは春インカレ後の総会で注文を取り、今年より早く年度内に各大学担当者に送付したい。デザインコンペで採用者には原稿料も進呈するとしたい。フライヤーをより良いものにするために意見が欲しい。</p> |
| 山本 | <p>岡山大と筑波大では大学に提出し、認印が必要になっている。1-2 部を先に提出し、承認印を貰った後、こちらで大量印刷をしたい。そのような方式は可能か。</p>  |
| 木村 | <p>完成原稿を送るという意味でいいか。それよりは印鑑画像を送ってもらってコピーを全体と一緒にやりたい。</p>   |
| 瀬川 | <p>本企画について、今年の新歓フライヤーについてアンケートを行ったので、その点を含めて臼井に報告をお願いしたい。</p>  |
| 臼井 | <p>新歓フライヤーに関するアンケート結果は資料の通り。ここでは簡潔にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーリングという競技の魅力を伝える点では効果的だった。カラーで</li> </ul>  |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>分かりやすかった点が理由だと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一方で、チラシにはサークルや部としての情報が載っていないため、各団体の連絡先を記入できると良かった。</li> </ul>   |
| 木村 | 連絡先を書くことも検討したが、各部内で作成のチラシがあることや、手渡しの際に連絡先を伝えるなど想定した。これ 1 枚ですべての需要を満たすのは不可能と思っているので、費用対効果が高い方法を求めたい。  |
| 瀬川 | 印鑑や、各大学の連絡先などの情報を僅かに記載できる余白を作るのいいのではないか。   |
| 木村 | 裏面下部に自由記入欄の余白をつくることにする。この企画の意図としては、人物や地図画像を取り入れた分かりやすいカラーのフライヤーを作るにはある程度の情報蓄積があるクラブでないと作成できないと思う。それが難しいクラブに支援したいと考えた。自分のクラブで日程や連絡先などの詳細も作ることができるのならこれとは別に作成し、2 枚配布するのがいいと思う。 |
| 成澤 | 日本学連 HP の連絡先を記載することは可能か。QR コードがあると便利。印刷物に各大学への個別の対応を盛り込むのは適切でないと思う。かと言って 1 人に対して 2 枚を配ったとしてもフライヤーしか目にしない人は連絡が取れなくなってしまう。フライヤーには必ず連絡先が記載されているべきだと思う。                          |
| 木村 | 日学の HP に新歓ページを作り、そこに各大学の連絡先または Twitter アカウントへのリンク等が用意してある、ということなら可能と思う。  |
| 佐藤 | 日本学連 HP 新歓ページに大学のリンク一覧を用意すると良いと思う。   |
| 坂野 | 日本学連 HP にリンク一覧ページを 1 記事作って、そのリンクを QR コードにして公式フライヤーに印刷する、といったことは可能だが、各校から URL を収集するのに労力が見込まれる。広報と協力が必要だが可能である。  |
| 木村 | 恒久的なページにして毎年維持してほしい。   |
| 瀬川 | 幹事会でデザインを選んで受注とあるが、幹事会で選ぶべきものなのか。責任者は木村さんで間違いないか。  |
| 木村 | 責任者は私だが、幹事会に対してはヒアリングを行いたいというくらいの意味。   |
| 瀬川 | 報酬についても寄付から賄っているのか。  |
| 木村 | 今年の報告した支出 15 万円の内にも作成者への原稿料が含まれている。  |
| 瀬川 | 新歓ページの作成方法は具体的にどうするか。  |
| 坂野 | 広報不足だが、日学 HP の普及支援活動カテゴリに加盟校 HP リンク集がある。これとは別に新歓用ページは作る必要がある。最低限の情報が載った分かりやすいリストにする。   |
| 木村 | その必要があると思う。新歓はクラブトップページではなく、アクティブな専用ページに飛ばしてほしい。更新の止まった古いトップページでは印象は悪い。  |
| 瀬川 | 日本学連 HP の広報や各大学の HP 整備をするには早い段階からの告知が必要に   |

|    |   |
|----|---|
|    | なる。秋インカレ総会でフライヤーの説明とともに HP リンク募集について告知を行う。  |
| 臼井 | 今年のフライヤーを配布していない学校からの意見を貰っていないので、新しくつかいたい大学についても次回フライヤーへの要望を募集したい。  |
| 瀬川 | 要望の募集については、今回のアンケート結果の資料を編集して秋インカレ総会で配布することで新たな意見収集を行ってはどうか。  |
| 瀬川 | 新歓については日学としての協力を強化したいと考えている。いぶき 2 号に記載の通り、昨今は加盟員数が増加傾向ではあるものの、もっと情報共有をしたいと考えている。もっと具体性の高く、利用できる情報をまとめることが出来たらいいのだが、方法はないだろうか。 |
| 坂野 | 意見共有の場、意見表明の場、相談の場、新歓マニュアル、いぶきの特集、そういったものを指しているのか。  |
| 瀬川 | 形式は決まっていないが、現状として各大学独自になっているもので、共有できる良い方法は共有したい。そういった意識や意見を各地区学連にも持ち帰って考えてもらえたらと思う。   |

## 2.加盟校基準について

### 要旨

幹事会では以下の合意が得られた。

- ・「3 人以上の加盟員」と「地区学連の承認」が加盟校となれる条件である。
- ・加盟校は「インカレリレー選手権クラスの出場資格」を持ち、「日本学連総会及び地区学連総会への参加義務」がある。
- ・地区学連総会と日本学連総会に渉外が参加しないことが続く場合、準加盟校に降格される。

学連登録と規約の整合性、加盟校承認の期限を検討した。今年度内での規約改正を目指す。

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | 地区ごとに異なる加盟校形態や、総会での議決権の一票の格差について議論している。一票の格差は納得した。基準の統一は人数の基準を統一したかったが日本学連という組織の形態を決める重要なことのため、慎重に議論している。加盟校人数の根拠はインカレリレーの 3 人以上、地区学連の承認を基準とし、インカレの出場権、総会の参加義務を課すという方向。準加盟校は総会の欠席や地区学連の承認がなかった場合。なるべく多くの学校に加盟校になって欲しいという方向 |
|----|--|

|    |   |
|----|---|
|    | にしたいが、オリエンテーリングを活発に活動しているクラブを選別する基準は難しい。<br>今回は加盟金について未解決だったので事務局長作成の資料を見て欲しい。  |
| 吉澤 | 各校の加盟登録費は資料の通り。加盟校・準加盟校としての負担金は学連収入の2%未満である。  |
| 瀬川 | 人数の多い学校だと1人あたりの加盟金は少なく、人数の少ない学校だと高くつく。加盟校基準の統一に向けて、金額の根拠にかけているという問題提起だった。   |
| 竹内 | 2015年度は収入900万円、支出730万円で大幅の黒字となっている。2%の減収は現状では問題ない。  |
| 成澤 | そもそも大学単位で徴収する加盟金はなぜ始まったか。   |
| 木村 | 意味合いとしては学校ごとの事務手数料という認識。団体加盟費を要するのは一般的に組織として普通の仕組みだが、公平負担の点では再考の必要がある。  |
| 吉澤 | 現在は各校渉外担当者が自分で加盟登録を行える仕組みになっている。前年度は事務局長の負担が大きかったが今年度からは事務手続きがかなり楽になった。   |
| 木村 | 手続きが楽になった分値下げということも理にかなっていると思う。   |
| 瀬川 | 加盟校や加盟員が増えるためにも料金体系の簡素化や学校ごとの公平性が大切になる。大規模サークルに所属している少人数加盟校の加盟校費は各校負担か。   |
| 吉澤 | 早大OCは全体で負担しているため、少人数加盟校である日本女子大や東京理科大の部費は早稲田大の人と同額で済んでいる。なお、現状では加盟校4000円、準加盟校1000円となっている。   |
| 佐藤 | 東大OLKでも同様となっていると聞いている。  |
| 瀬川 | サークルとしてまとまっているところは全体での負担ということだが、それは新規校を抱える金銭的負担を大きなサークルの仕組みに頼っているとも考えられる。単独で活動する学校にとっては負担になってしまうこともあると思う。   |
| 遠藤 | 日本学連加盟校としての票や権利があるのだから、形式的にわずかでもいいので1校単位の徴収があってもいいのではないか。   |
| 佐藤 | 各地区学連も別で加盟金を集めているはずだが、そちらには学校単位の支払いがあるのか。関東は加盟員数のみである。  |
| 西嶋 | 東海学連の加盟費は加盟員数で取っている。  |
| 木村 | お金が足りないというわけではないのだから、学連の意志によってくる。   |
| 瀬川 | 規約改正の見通しとしては、秋インカレ総会で方針を示して春インカレ総会決定、翌年度はすぐには対応できないのでさらに次年度に施行。加盟校費をなくす理由としては、学連側・加盟校側双方の事務的な手間が減り、少人数校の負担減にも繋がる。一方で残すべき理由としては、加盟校であるという意思表示のためにも形式的に必要であり、将来的に予算が不安になる懸念もある。 |

|                |  |
|----------------|--|
| 坂野             | 規約改正によって加盟校数がこれまでより変動しやすくなる。加盟校費を 0 円にすることで計算が楽になりミスも減ると思う。現状では振込額の間違いや払い戻しも多くあると聞いている。単純な人数比例の金額を徴収することは事務局の負担軽減になるのではないかな。 |
| 山本             | 加盟校費を無くしたら規約改正が必要になると思うが、0 円にするというように書くのか、加盟校費自体の記述を削除するのか。  |
| 瀬川             | 0 円と書くのが良い気がする。将来学校ごとの加盟金が復活する可能性を残しておくべきだと思う。記載自体を削除してしまうとそれは難しくなる。   |
| 遠藤             | 加盟校費を取るなら根拠が欲しい。   |
| 瀬川             | 現在の幹事会の意志を確認するため挙手をお願いする。多数決により 0 円とする方向で話を進める。  |
| 瀬川             | 登録方法の変更について事務局の吉澤から意見がある。  |
| 吉澤             | 登録方法のデータベース化によって規約との齟齬が生じている。資料を参照して欲しい。   |
| 吉澤             | 今年度はデータベースの初使用だったので規約の齟齬があるまま登録方法について資料を配布して、それに従って渉外に登録をしてもらった。規約改正は急いではないので、地区学連に持ち帰ってもらって意見収集をしたい。                        |
| 瀬川             | 地区学連では各地区学連の事務局が担当していたため、データベースの使い勝手についての意見収集はこの幹事会の中では出来ないと思う。  |
| 吉澤             | このような仕組みになっていることを幹事の皆さんに紹介するということでまずは意見を聞きたい。  |
| 瀬川             | その年度に 3 名以上になるかの判断時期が難しい。地区学連で加盟校となる承認を取る形になるが、各地区学連の第 1 回総会の時期にあっているか。各地区の第 1 回総会は何月か。                                      |
| 西嶋             | 8 月(東海学連)  |
| 丸山<br>山本<br>小山 | 6 月(北東学連・中九四学連・北信越学連)  |
| 上野<br>遠藤       | 4 月の次は 6 月(関東学連・関西学連)  |
| 瀬川             | 6,7 月の間の地区学連総会において、その段階で 3 人以上となるかの見通しがある大学は地区学連の承認を得て、日本学連の加盟校となれる。その後、登録が 3 人以上とならなければ準加盟校に引き下げる。これで問題ないか。                 |
| 坂野             | 加盟校費を 0 円にした際に加盟・準加盟で義務や権利の差が生じるのは秋インカレでの議決権が初めてである。それまでには決まるようなら問題ないと思う。  |

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | 次回秋インカレの総会で方針と論点説明、春総会で規約承認、次年度登録から新基準で動くという流れで問題ないか。1 年は空けずに行うが、対応できるか。 |
| 遠藤 | 1 年空くより早く決めたほうが、この方針の意志が伝わると思う。1 年開くと引き継ぎが必要になる。                         |
| 瀬川 | ではこのように話を進める。  |

### 3.インカレリレー特例措置について

#### 要旨

混成チームが選手権クラスを出走可能になる特例措置についての幹事会の方針は、インカレへのエントリーが大学で 3 人以上あった場合に適用を不可とするガイドラインを制定することとした。男女合わせて 3 名がエントリーした場合にも他大学との混成を認める方針を確認した。

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 考え忘れていた条件があり、インカレ出場者が男 2 名女 1 名などで 3 名を満たした場合の特例措置の混成を認めるか。選手権リレーには出られないが、XUR には出られる。こういった学校が他大学との混成を希望した場合認めるかどうか。   |
| 佐藤 | XUR にも表彰対象であり、価値がある。3 名いるならこれに出るべき。   |
| 坂野 | 普及を推進するという特例措置の目的から見れば、例えば男 2 名だけの学校と、男 2 名女 1 名の学校で違いがないと思う。後者のように 3 名いてもリレーにでられない学校に対しても、普及の観点からリレーの出場権を認めるのは良いと思う。 |
| 臼井 | 男 2 名女 1 名ならば ME リレーを走れるのではないか  |
| 瀬川 | 男子クラスなら特例措置を使わずに出られる規則はある。  |
| 木村 | その規則自体が特例と考えていいものと思う。世界選手権でもある例ではあるが積極的に使うべきではない。   |
| 瀬川 | インカレ出席者数が性別ごとに 2 名以下の大学で特例措置を認めて、同性 3 名以上の大学で認めない、という方針で異論ないか。この議論の結果を取り入れて文章を直してガイドラインを作成する。                         |

#### 4.春インカレについて

##### 要旨

春インカレ実行委員会より、エントリー・日程や会場使用について注意喚起と確認事項があった。また、インカレ実行委員会の会計について口座を作成したい意見があったが現状では認めない方針を取りつつさらなる意見収集を行うこととした。

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | <p>春インカレ実行委員会よりいくつか確認事項がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅れエントリーを行わない。これは運営の負担になっていると思われる。</li> <li>・開会式午前中開催。矢板日光地域では過去に泥の持ち込みにより使用不能となっている会場も多い。そういったことを防ぐための措置。我々参加者が意見を言える余地はない。</li> <li>・開会式への泥持ち込みの厳罰化。上記と合わせて意見はないと思う。</li> <li>・木曜日のモデルイベントはない。木曜日の必要がある大学がなければ問題ない。</li> <li>・リレー方式は3人とも同じ距離。これもコース作成上の負担軽減かと思われる。</li> </ul> <p>上記は全て問題ないと思う。</p> |
| 瀬川 | <p>インカレ口座についての意見。これは学生で判断できないので理事や運営経験者の方に直接幹事会等で伺いたいということになっていたが、それについての春インカレ実行委員会からの返答になる。収益管理口座と各インカレの経費管理口座の2種を用意して、前者は学連会計が管理して、後者をそれぞれのインカレ会計が管理したいということだが、これについてどのような問題があるのか。</p>  |
| 木村 | <p>単年度で会計が変わるのは、ほとんどの団体でそう。日本学連は任意団体なので公平な運営を行う点についてだけ検討すればいい。また、口座が運営者の自由に出し入れすることができるようになれば日本学連として会計の全容把握が不可能になるだろうし不正の温床になる懸念もある。</p> <p>さらに、銀行は新規口座開設が非常に厳しくなり、口座の使用方法や規約の提出、会計の透明性が求められている。これから年2回2年分で計4口座を開設することは現実的に厳しいのではないか。さらにその数の口座を毎年適切に引き継ぐのは難しい、ただでさえ学連の会計引き継ぎは手続きが煩雑で苦労していると思う。</p> <p>どこに銀行口座を作るのかという問題もある。都市銀行の口座は各インカレを行う場所では使いにくい場合がある。</p>              |
| 竹内 | <p>会計としては管理する口座が増えるのは業務が煩雑になる。</p>  |
| 佐藤 | <p>経費口座の監査も日本学連会計監査の仕事となるのでは。細かい業務が増える。</p>   |
| 木村 | <p>予算策定時に計画が作られていれば、実行委員会ごとに口座を作成し、準備金を</p>   |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>日本学連より支給し、大会終了後に返却とすることは可能。ただ、実行委員会立ち上げが間に合わないのが現状。</p> <p>実行委員会の立ち上げを待たずに日本学連予算内に一定の額を確保しておき、発足後は適宜自由にそこから引き出してもらい、とするのは解決策の一つ。</p> <p>実行委員会への 100 万円の貸付が以前はあった。それを復活させれば良い。</p> |
| 坂野 | <p>学生大会においても大きな出費がある場合、単年度会計から外れ前年度積立金を利用することがある。貸付金はその役割を果たすので、この制度で良いのではないだろうか。収入があり次第、返却してもらえば良い。</p>   |
| 臼井 | <p>実行委員会立ち上げでかなりの金額を貸していたのが行われなくなったのはなぜか。</p>  |
| 木村 | <p>近年は実行委員会が立ち上がるのが遅く、ここ数年申請が行われておらず制度として衰退した。100 万円×4 回分ほどの積立金は現在の日本学連にはあるので求められれば貸し付けることは可能。また、会計責任をどこが持つかが変更されてきた。ロングに関しては地域クラブとの共催などで経費を浮かせてインカレ会計を日本学連に求めなかった。</p>              |
| 坂野 | <p>つまり近年スプリント開催で問題が浮き上がってきたということで、お金が必要になったものの日本学連に会計責任を持つ仕組みを改めて構築したい、ということになるか。</p>  |
| 木村 | <p>昔のミドルリレーなどではやっていた。ロング開催や開催時期変遷、実行委員会の会計責任の外注化で変化が多く、学連の会計責任が薄れてきたように思う。</p>   |
| 瀬川 | <p>口座開設についてはそのメリットデメリットが学生からは把握できない。</p>   |
| 木村 | <p>不正や会計不透明の温床と、実際に口座開設することの難しさを懸念している。現実的には先に述べたとおり、実行委員会立ち上げとともに貸付が妥当かと思う。</p>   |
| 瀬川 | <p>実行委員会発足時に貸付金を渡しておき、終了後決算とともに返金してもらい。日本学連として、インカレ用に収益管理口座と経費管理口座の 2 種を用意することには同意できない。</p>  |
| 竹内 | <p>日本学連からの貸付金をベースに資金をやり繰りしてもらい、足りない場合は日本学連が負担する、という形式で良いか。</p>   |
| 瀬川 | <p>春インカレと同様にまだまだ検討したい。理事や運営者の方の実際の話伺わないとわからない。</p>   |
| 木村 | <p>スプリントは黒字にならないと思う。現状はそれを承知でやっている。開催当初の趣意は観戦の面白さなどだったが、試行大会から第 1 回以降で趣旨が変わっている。継続するには根本的には参加料をもっと上げなければならないものだと思う。</p>  |
| 瀬川 | <p>今年もどうなるかわからない、様子見しなければならない。</p>   |

## 5.全日本大会について

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | JOA との決め事調整について私が検討してくるはずだったが、動けていない。  |
| 木村 | <p>次回の全日本大会は栂の湖である。特に東海と関西地区はセレクション利用をお願いしたい。</p> <p>また、それ以降の全日本大会プロデューサーを募集したい。前回大会については半分成功、という認識。参加者の評判はよかったが、採算性が悪く、矢板という立地の条件以外で成功できるとは思えない。継続的な大会開催という観点からはまだまだモデルとして不適切だった。次のプロデューサーにとっても運営する魅力ある大会にしないと続かない。</p> |
| 瀬川 | 開催時期などのスケジュールについて JOA との確約を作りたい。前回幹事会では開催を 1 年半前には決まり、セレクション併催決断を半年前、併催決定前までに OB・OG の運営者がどの程度必要になるかの連絡をお願いしたい、という決め事をした。   |
| 木村 | プロデューサーが代わっていくので条件を確約することは出来ない。人によっては方針が変わる可能性はある。スケジュールに関してはその通りになる可能性が高いしそのようにする必要はあるものの、将来のプロデューサーによってどうなるか約束できない。  |
| 遠藤 | 栂の湖での次回全日本大会では、セレ併設の誘致はどうか。半年前の 12 月には運営も具体的に決まってくる時期のため、11 月にはご連絡頂きたい。  |
| 木村 | プロデューサーの山川にはそのように伝えておく。公表の通り山川の都合があるため、連絡が遅れないよう注意する。  |

## 6.コントローラ講習会

## 要旨

JOA 公認大会開催の要件であるコントローラ資格だが、3 年に 1 度の講習会が今年あり、資格の推薦が可能であると判明したため、日本学連として受講資格の付与を検討したい。

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | <p>推薦希望があったのは 4 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮川早穂：立教大 OG、全日本スプリント運営、インカレ優勝など</li> <li>・坂野翔哉：東京理科大学 4 年、早大 OC 大会運営など</li> <li>・田中翔大：東京大学 4 年、東大 OLK 大会運営など</li> <li>・橋本知明：東京大学 OB、東大 OLK 大会運営、JWOC、インカレ ME など</li> </ul> <p>推薦をして資格を得た場合には、今後学生や学連に対してコントローラや運営者</p> |
|----|--|

|    |  |
|----|--|
|    | として還元をしていって欲しい。  |
|    | 宮川早穂：全会一致で推薦を承認<br>坂野翔哉：全会一致で推薦を承認<br>田中翔大：全会一致で推薦を承認<br>橋本知明：全会一致で推薦を承認 |
| 瀬川 | これに関しては担当者の西脇さんに連絡して 4 名がコントローラ講習会へ参加できるように手配して頂く。                       |

## 7.事業計画について

### 要旨

公表のとおり、山川さんが母親の介護生活に入るため YMOE 社の業務を縮小することとなった。また、日本学連の事業計画であった東工大大会は延期された。

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | 山川さんがいないため資料を参照のこと。そのような状況の中で各トレインはど<br>うなるか。渉外や、利用に関して把握しているものはいるか。   |
| 堀江 | 把握していない。   |
| 坂野 | この資料で初めて把握できた。この報告に沿って HP を更新して利用状況を最新<br>の情報にする。  |
| 瀬川 | メールによると、塩谷熊ノ木、塩谷田所、矢板塩田、番匠峰古墳、矢板日新、矢<br>板山苗代が使用可能。矢板長井、前高原、矢板片俣、矢板幸岡、矢板合会、矢板<br>山田が使用不可。また例幣使街道は修正の必要があるが使用可能。<br>業務縮小によって地図調査はできなくなるが電話での渉外や地図印刷は可能なの<br>でぜひトレインを利用して欲しい、とある。渉外に関しては堀江が担当できるの<br>か。 |
| 堀江 | これまでも 1 人で渉外したこともあった。特に問題はない。  |
| 瀬川 | 事業計画のうち、山川さんが臨機応変な地図修正を行えるような規約化を検討し<br>ている。また、現在日光例幣使街道の修正予算がついているが、このような状況<br>もあって地図修正が途中である。<br>この制度や報告様式について会計の竹内や理事の齋藤さんとともに話を進めてい<br>る。意見を求めたい。  |
| 佐藤 | 地図会計について会計監査の仕事は具体的に何か。  |
| 坂野 | 学連所有のトレイン利用がある際に山川さんと担当者の地図発注枚数メールを会   |

|    |   |
|----|---|
|    | 計と会計監査にも送信するという事は決まったはずなので、メール上の発注枚数と、山川さん発表の枚数や計算が合っているか年度末に確認する。と言うものだったと思うが間違いないか。   |
| 瀬川 | 今後の学連テレイン利用に関してのテンプレートを作成した。これらの様式が適切か意見はないか。   |
| 坂野 | いつ使うのか、誰が誰に報告する時につかうのか、種類も多くわかりにくい。それらについて分かりやすい図があるといいと思う。   |
| 瀬川 | わかりやすくする、というのは分かった。   |
| 瀬川 | 事業計画について名前を募集していたが、そろそろはっきりしたい。<br>渉外契約、地図印刷指定管理業者契約、3種の決済手段、これらを利用した地図資産拡充のパッケージ名について。<br>地図作成事業、地図作成修正事業、地図事業など呼称が統一されていない。<br>それについて山川さんが幹事会参加の際に考えたい。 |

## 8.技術委員会の今後について

### 要旨

学連合宿を静岡で開催した。北東学連合宿と被っていたため関東からの参加者が多かった。技術委員会の活動については引き続き意見を集め模索していく。

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 学連合宿を開催した。若手 OBOG をお願いをして、スプリントセレに合わせて静岡で開催した。北東学連合宿と被っていたため関東からの参加者が多かった。さらに高頻度で、他地域での開催、協力者の募集をしたい。この問題になっているのが技術委員の役割や仕事内容が明確でなく、ノウハウも途絶えている。シード選手の決定も不透明な部分が多く、内容の透明化、制度化、そもそもそれらをこなしてくれる人材を求めている。<br>また、山リハの前に学連合宿が開催できないか、また山川さんの事情により山リハの開催が不透明だと考えている。これも合わせて対応して頂ける方を求めたい。 |
| 臼井 | 技術委員会に入ることでの見返りは無いと思っていいか。  |
| 瀬川 | 技術委員会に新しく入っていただく方にはまずは学連合宿の安定的開催をお願いしたい。理想はいろんな地区で年に複数回できると良い。制度としては現在崩壊していて、7年ほど活動が低調と言える。   |

|    |  |
|----|--|
| 坂野 | 関東では近年は合同合宿などで広く OB・OG 間の協力も盛んであると思うので、それを拡大して日本学連合宿の名前をつけて広く参加者を集めてもらうように相乗りのように形をお願いするのはどうか。そもそもの規則がないので、人脈がある人をお願いすることが必要だと思う。技術委員としてなんでもやるのではなく、日程や場所の企画をして運営者を集められる人、という形がよい。また、学連所有トレインを使った時に割り引くなどは簡単にできると思う。 |
| 竹内 | 学連の地図だと関東に集中することになる。関西方面での開催可能性はないか。   |
| 遠藤 | 関西学連として持つトレインならいくらあるものの、結局日本学連の予算拡充は必要にならざるをえない。   |
| 吉澤 | お金と時間を掛けてそこまでできる社会人はなかなかいないと思う。主催者の交通費宿泊費くらいは日本学連が出しても良いのではないか。  |
| 瀬川 | ボランティアを募っていて現状上手くいっていないのだから、十分な予算は出すべきかもしれない。  |
| 臼井 | 今回学連学連を開催された運営者の方にヒアリングするのはどうか。どうすれば今後も開催して頂けるか、どういう条件なら技術委員になって頂けるか知りたい。  |
| 佐藤 | 負担がどの程度になるかなど具体的な部分を決めるべきかと思う。金銭的負担やトレインによっても開催のしやすさ、意欲は異なってくる。  |
| 瀬川 | 山リハの際に学連合宿を開きたいが、関東以外からも多くの参加者を集めたい。各地区学連合宿の現状はどうか。  |
| 西嶋 | 東海学連は夏冬 2 回行っている。夏合宿は競技部長と幹事長による学生主体の運営。冬合宿は静名対抗戦を兼ね、1 日目は学生主体、2 日目は OB 運営。  |
| 小山 | 北信越学連は年 1 回、OB・OG 主体で行っている。  |
| 遠藤 | 関西学連は、定例戦を 3 回行わない場合に合宿を開催、という規約だが最近は行っていない。開催するなら学生主体だが、他大会との日程調整やメンバーの問題で開催できない。日本学連として開催してもらえたら参加したい。   |
| 瀬川 | 現状把握になってしまったが、これ以上の意見も無いので終わる。技術委員会の活動については引き続き意見を積み重ねていく。   |

## 9. インカレスプリント会計について

## 要旨

インカレスプリント運営は負担が大きく赤字である。運営形態も持続可能な形ではない。収入増のためにも、選手権人数を増やす方向で今後議論を重ねていく。

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 秋インカレ単独でできるだけ黒字化を目指したい。駒ヶ根では色々な試みも可能とのことだが、なにがしたいかアンケート、どういうことが楽しいインカレスプリントにできるか幹事からも意見を出して欲しい。                   |
| 竹内 | ニューマップ、普段は走れないような場所に魅力がある。  |
| 臼井 | スプリント 1 本で終わるのではなく、もう 1 レースなどできると良い。  |
| 上野 | スプリントリレー形式はどうか。   |
| 佐藤 | 一斉スタート形式、その鑑賞会、観戦料をとる。  |
| 竹内 | 新入生向けクラス(MF/WF)の設置。   |
| 佐藤 | 走力で決まらず技術的課題のあるレース性を盛り込んで欲しい。   |
| 遠藤 | 会場周辺に収まらない全面観戦を取り入れる。   |
| 佐藤 | 春開催にすれば時間的余裕がある。  |
| 堀江 | チャレンジクラスの競技性が低い。パターン用意して同時出走など楽しく走れる工夫がほしい。時間短縮により出走人数も増やせ収益増加に繋がる。   |
| 瀬川 | 併設クラスの充実が即効性あって収益も上がる。フォレストのように一般クラスの充実が難しいのだろうか。チャレンジクラスでなくても走れば参加者は楽しめるのではないか。                                  |
| 臼井 | メダルが貰えるとか、山川杯の対象など。併設クラスの充実で、短い 1 本だけとの不満はなくなると思う。  |
| 瀬川 | モデルイベントがあるので時間の余裕がない。モデルイベントを開催しないと収益が上がらない。以前のアンケートでは、選手権クラスの値上げには概ね賛成が得られた。スプリントについては動き出し段階なので、参加費を含めまだまだ変革は可能。 |
| 佐藤 | 設置したコントロールをそのままにして、夕方から公認スプリント大会を併設する。  |
| 瀬川 | インカレスプリント単独開催で人があつまるか、モデルイベントの時間や場所の調整、選手権クラスの人数増やす意見が出ていたがこれも検討したい。  |
| 佐藤 | ロングは閉鎖時刻の問題もあるためムリだが、スプリントなら枠を増やしても運営負担は少ないと思う。   |
| 瀬川 | 選手権人数を増やすというのは、観戦大学数も増えるため盛り上がると思う。幹事の中で異論はないか。(全会一致で枠増加に賛成)<br>では具体的にどの程度なら妥当と思われるか。                             |

|    |   |
|----|---|
| 竹内 | 男子 80 人、女子 40 人まで。  |
| 山本 | 男子 100 人、女子 50 人まで。   |
| 成澤 | ミドルは女子の枠を減らしたが、そうした経緯はなぜだったか、スプリントだからと安易に増やして良いのか。  |
| 瀬川 | 女子はまずロングの難易度にあわせた人数に減らした。それにミドルの人数を合わせた。フィニッシュ時刻を早め、運営負担を軽減するためと考えている。                      |
| 佐藤 | スプリントは人数を増やせば 1 年生の出場チャンスも増える。スプリントなら大きな競技レベルの差にはつながらないため選手権のレベルダウンにはならないように思う。             |
| 瀬川 | 幹事会意見として男子 80 人と女子 40 人への人数増の意見が多かったため、これの人数を目処に収益改善と大会の盛り上げを図りたい。運営の時間都合に影響ないかも考えつつ検討していく。 |
| 竹内 | 男女で交互に出して、同時に出すのはムリか。競技性の維持の懸念はあるか。   |
| 坂野 | スプリントは 1 分あれば見えなくなるくらい離れるため、スタート間隔を縮めても競技性は低くならないのではないと思う。森だとそうはいかないが、スプリントなら影響は小さいように思う。   |
| 瀬川 | 競技性というよりは大人数のスタートや一斉にフィニッシュすることに運営が対応できるかに行った観点になるかもしれない。今回の意見をもとにして総会までにアンケートを実施したい。       |

## 10.学連発足 35 周年に向けて

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 今年でおそらく 33 周年になる。引き続き案を募集する。学連幹事でやりたいことをやってみれば良いと考えている。個人的な意見だが、インカレの記録やエピソードや地図、トレイン紹介などを冊子にして記念品とできないか。私が幹事長を引退してからそういったものを作る委員会を立ち上げるとか、そういうことになるかもしれない。 |
|----|---|

## 11. 賛助会員について

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 賛助寄付の一部が出身大学所在地の地区学連にまわっている規則がある。どうい<br>うお金の流れでどうやって使われているのか把握できているか。   |
| 臼井 | 昨年度は北東学連会計をやっていたが、たしかに振り込みがあった。   |
| 瀬川 | 出身大学でない地区学連に賛助したいケースがあったが、問題ないと思いそれを<br>認めた。今後はどこの学連に寄付するか選べるようにできないだろうか。   |
| 坂野 | そもそも日本学連が窓口なのに地区学連に行くのか。どういう規則か知りたい。  |
| 竹内 | 賛助寄付は 1 口 1000 円で最低 3 口が 3000 円。このうち 1 人 1000 円を地区学<br>連とある   |
| 瀬川 | 日本学連は会計的に余裕があるので、地区学連に行くことは問題とっていない<br>い。適切に運用されていることがわかった。HP の賛助ページを一部書き換えて、<br>希望があれば任意の地区学連にこの 1000 円を寄付できることとしたい。 |

木村、堀江、小山が途中退出した。

## 12. 後援大会について

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 後援が形骸化しているように感じる。「日本学生オリエンテーリング連盟後援に<br>関する規定」を読むと「参加する加盟員及び評議員・賛助会員に対し、何らかの<br>便宜を図る」また、「割引を行った場合、大会に参加をした賛助会員 1 名あたり<br>1000 円を大会主催団体に支給を行う。」とある。実態として機能していないので<br>はないか。この規約について知っていた人はいるか。 |
| 坂野 | 知らなかった。早大 OC 大会では申し込みの際に賛助会員からの自己申告を受け<br>て地図を渡すという特典を付与していた。   |
| 瀬川 | おそらく制度の認知がないため、割引きという仕組みがなされていないし、支給<br>も行っていないのではないかと考えている。  |
| 山川 | 現状の特典である地図を渡すという条件を明記するのはどうか。   |
| 瀬川 | 賞品として地図以外のおみやげのような物品付与といった運用もあり得る。これ<br>を縛る必要はないと考えている。   |
| 坂野 | 後援申請するメリットが薄れてきている、こちらから提供できるメリットはない<br>か。後援申請が面倒になれば日本学連の後援の価値が無い。   |
| 瀬川 | 渉外報告書など運営者への手間は増えていて、それによる日本学連側の利益はあ<br>る。現状それで上手く行っているが、考えていきたい。   |

|    |   |
|----|---|
| 吉澤 | 規約改正の必要がなければ、この規約を要約して申請者への返信に記載することができる。この規約に書かれた運用が運営団体にとって手間であり、現状に即していないのであれば廃止しなければならない。 |
| 瀬川 | 幹事で廃止を検討した方がいいと考える人はいるか。(なし) では廃止は検討しないとする。この規約を周知し、この制度が活用された場合は支給など対応をする。                   |
| 吉澤 | 後援大会への要望として目安箱や報告書やその他の注意事項が増えてきて、わかりにくくなっている。この制度の紹介を含めて後援申請書を書き換えるつもりでいる。                   |
| 瀬川 | 目安箱の設置が忘れられている大会が多くある。後援承認の返信の際に分かりやすい周知をお願いしたい。  |

### 13.メールについて

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 新しい y メール (理事を含む日本学連メールリングリスト) を freeML に移行した。まだ完全に移行していないため、周知を図る。<br>旧 y メールは orienteering.com で、昔の理事幹事も多く含まれているが、必要な際にはそちらも使いたい。 |
|----|---|

#### 14.学連内部の取り決めについて

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | 21E 権 2019 年度からの運用を考えている。上島と勝山が全日本 E 権を取得して<br>いて、5 人以上取得で要検討という幹事内の約束だが、すでに男女各 1 名+公認<br>E 権保持者も男女各 10 人ちかく既にいて、彼らが全日本 E 権を取得できる大会<br>も多く来年度 5 名を越えてしまう可能性も高まってきている。<br>セレ免除者が多数出ることによって運営負担増に繋がる。現状としては 2018 年度につ<br>いては地区学連枠には含めない方針なので多数のセレ免除者を許容するしかない<br>のか。 |
| 臼井 | 椈の湖は北東学連セレには使わない予定。セレではなく全日本で 21E クラスに<br>出る場合にはどうなるのか。  |
| 坂野 | 男子 5 名を越えてから検討なのであと 4 名までは大丈夫ということになる。   |
| 瀬川 | 2019 年度からは地区学連枠内に丸め込むことにする必要は大いにある。2018 年<br>度は予定通り枠を増やすことにする。   |

#### 15.後援大会について

|    |  |
|----|--|
| 吉澤 | 幹事会までに届いた後援大会の承認を行う。日程未定の東工大大会、2 月 25 日<br>の第 7 回 KOLC 大会、2 月 18 日のウェスタンカップリレー大会から連絡が来て<br>いる。 |
|    | 第 7 回 KOLC 大会の後援を全会一致(13)で承認   |
| 坂野 | 東工大大会は日程未定のまま承認いただければとのメールが山川さんから届いて<br>いる。  |
|    | 東工大大会の後援を全会一致(13)で承認   |
| 坂野 | ウェスタンカップリレー大会は既に後援が決定している早大 OC 大会と日程が一<br>緒だが、1 日に 2 イベントを後援することに問題はないか。                       |
| 瀬川 | 問題ない。  |
|    | 第 34 回ウェスタンカップリレー大会の後援を全会一致(13)で承認   |

## 16. 理事会報告

|    |                    |
|----|--------------------|
| 瀬川 | 理事がいらっしゃらない。報告はない。 |
|----|--------------------|

## 17. 各部局活動報告

|    |   |
|----|---|
| 瀬川 | 各部局長は前回幹事会以降の活動報告をしてください。   |
| 竹内 | 会計は 3 月末にみずほ銀行の口座を引き継ぎ、今後議事録が用意され次第ゆうちょ銀行を引き継ぎする。   |
| 矢野 | 第 1 回総会の会場を山川さんに打診した所実行委員会が会場ちかくの場所を確保してくださった。事業部は引き継ぎを行い、本日の会場と宿泊を予約した。日本旅行の小林さんにご挨拶のメールを送った。  |
| 坂野 | <p>前回幹事会の議事録を 10 日程度で発行することができた。「いぶき」については 1 号,2 号を発行した。「いぶき」3 号,4 号も年内に発行できるよう検討中である。日本学連 HP の組織図が古いものだったため現状に沿った修正を行った。</p> <p>また、8 月 26 日に日本学生サーフィン連盟との情報交換会が設けられ、私が日本学生オリエンテーリング連盟の代表として参加した。これは日本オリエンテーリング協会の大里理事から幹事長の瀬川へ連絡があり、瀬川の都合が悪かったため私が担当した。日本学生サーフィン連盟は現在 OB を中心に運営されており、一部の OB と学生により、今後は学生主体的な運営へと転換していく上でのヒアリングということであった。</p> <p>我々の活動について一通りの説明を行ったところ、学生選手権大会に対する幹事会や総会の位置付けや、このような幹事会の事務機能や連絡系統が彼らにも役に立ちそうとのことだった。サーフンは個人競技かつ大会運営の労力が小さいことから、我々のような体系的で強固な組織力の育成は難しいようであり、<a href="http://orienteering.com">orienteering.com</a> のように日程調整や連絡系統すら存在しないので、団体間交流も希薄であるようだ。しかし多く存在しているサーフィンショップでの社会人や学生も交えた個人間の交流や普及により、学生以上に社会人の活動が盛んとのことだった。社会人や生涯スポーツとしてのオリエンテーリング普及にサーフィン連盟との交流は役立つかもしれないと考えている。</p> |
| 吉澤 | 筑波ロゲイニング、第 37 回筑波大大会、第 38 回早大 OC 大会の大会後援承認書を発行した。学連加盟費の徴収・確認を行い、現在返金調整をしている。  |

|    |   |
|----|---|
| 臼井 | 賛助会員の受付及び名簿への追加を行った。新歓フライヤーアンケートを実施し、報告書を作成した。今後、秋インカレの観戦ガイドに着手予定。          |
| 瀬川 | 堀江からの伝言で、渉外部は 7 月までの矢板練習会申請回覧書を作成した。全日本大会終了後に矢板地区渉外を行ったため、2 人で行う挨拶回りはしていない。 |
| 瀬川 | 秋インカレ時の渉外に移動手段の各自確保を伝える。総会は 17～19 時を見込んでいる。                                 |

## 18.地区学連活動報告

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | 各地区学連幹事長は前回幹事会以降の活動報告をしてください。  |
| 丸山 | 北東学連は 6 月 18 日の全日本大会にて総会を行った。8 月 12 日に北東インカレにてロングセレを行い、総会も行った。推薦案作成に向けて動いている。  |
| 瀬川 | 小山より伝言を代読する。北信越学連はロングセレを 6 月 18 日の全日本大会と 7 月 9 日の東海インカレにて、スプリントセレを 9 月 23 日の関東スプリントセレにて併催。9 月 24 日に北信越合同合宿並びに北信越総会を行った。  |
| 上野 | 関東学連は 7 月 2 日にロングセレ兼関東インカレ、9 月 12 日に臨時総会、9 月 13 日に新人戦、9 月 23 日にスプリントセレの開催。10 月 14 日に第 3 回総会、12 月 17 日の京葉 OL クラブ 40 年大会にてミドルセレを行う予定。  |
| 西嶋 | 東海学連は 7 月 9 日に東海インカレ兼ロングセレ、今後は 7 月 16 日にスプリントセレ、8 月 22-23 日に東海学連夏合宿で第 1 回総会を開催した。12 月 23-25 日に冬合宿と総会、ミドルセレを行う予定。   |
| 遠藤 | 関西学連は、6 月 25 日に関西インカレ兼ロングセレと総会、7 月 16 日にスプリントセレが不成立、8 月 5 日に JOA 近畿連絡会を行った際に臨時幹事会。お伝えしたいのは、セレは不成立のリスクがあるということ。不成立の際の手続きを事前に定めておく必要がある。明石海峡大会で再競技とした。推薦でカバー、詳しくは関西学連の議事録を参照のこと。<br>青山高原南の「奥鹿野」で連絡取れず渉外出来ていなかったが、区長さんの代替わりが原因であり、再コネクションを図っている。<br>9 月 16 日に第 2 回定例戦、9 月 18 日スプリントセレ再競技を行った。10 月 8 日に臨時総会、12 月 17 日にミドルセレ及び第 4 回総会を開催予定。 |
| 山本 | 中九四学連は 6 月 25 日にロングセレは関西と合同。関西スプリントセレをセレ利用したが不成立なので話し合いで解決。女子は枠返還。12 月に合同練習、同  |

|  |              |
|--|--------------|
|  | 時に総会の開催の調整中。 |
|--|--------------|

## 19. 次回幹事会について

|    |  |
|----|--|
| 瀬川 | 次回総会は 1 月 13 日に、14 日開催の東工大大会に合わせるつもりであったため延期によって場所未定。スキー O 初心者講習会（日光）を検討したい。 |
|----|--|